

# 山王台だより 9月号



【学校教育目標】「自分のよさに気付き、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる」

横浜市磯子区磯子5丁目2-1

TEL 045 (755) 1107

## 豊かな友達関係について考える

校長 志田 一彦

今年の夏は全国的に厳しい暑さが続き、「命の危険がある暑さ」として報道されました。横浜市においても観測史上最高気温を記録した夏でした。夏休み期間、子どもたちに大きな事故がなく、今日の日を迎えることができたことを嬉しく思います。

今日から子どもたちにとっては37日ぶりの学校生活が再開します。まだ、残暑は続くと予想されますが、生活のリズムを整えて、落ち着いた学校生活を過ごせるよう取り組んでいきます。

早いもので、まもなく前期のまとめの時期を迎えようとしています。

1年生は、入学当初には「学校ってどんなところだろう?」「どんな先生や友達がいるのかな?」等、不安を抱いていた子もいたと思います。また、2年生以上もクラス替えがあり、仲良しだった友達と離れ、寂しさを感じていた子もいたと思います。

しかし、いろいろな活動をしていく中で、新しい仲間とも心を通わせ、今では、仲良く学校生活を楽しんでいる姿が見られます。

クラスには、いろいろなタイプの子どもたちがいます。活発な子、おとなしい子、話好きな子、口数の少ない子等、様々です。最近は遊びの集団が小さくなってきたこともあり、同じタイプの子と遊ぶことが多いようです。

しかし、いろいろなタイプの子と関わることが多様な体験や活動につながり、そこから自分にはないものを学んだり、自分の長所や短所に気づいたり、我慢したりする等、集団の中で生きていく力を身に付けていくのだと思います。時には「いさかい」もあるかもしれませんが、子ども自身がその「いさかい」をどのように解決、修復するかということも子どもの成長の過程には大切なことです。そのような友達関係を構築していくことで、子どもたちは、また一回り大きく成長していくのではないのでしょうか。

本校では、学級・学年内での交流の他に、異学年交流として「たてわりタイム」を設定しています。1年生から6年生までが同じグループを作り、自己紹介をしたり、ゲームをしたりしながら交流を深めています。今年度、既に3回行われていますが、高学年が低学年に対して優しく親切にお世話をしていた姿が印象的でした。そこから高学年は思いやりの心やリーダー性を学び、低学年も高学年に対するあこがれの気持ちを抱きます。

子どもは、子ども同士の関わりの中で大人から学べないことをたくさん学びます。私たち大人は、子どもたちがより多くの友達と豊かに関われる環境を用意し、子どもたちがよりよい人間関係を築けるよう、温かい気持ちで子どもの世界を見守っていききたいものです。

音楽朝会…ぜひ、ご来校ください。

9月25日(火) 8時20分より

**教育相談 教育相談** お子様の生活、行動、学習のことなど気になることがありましたら、担任の他児童支援専任(園田:山王台小755-1107)学校カウンセラー(森 陽子:子ども家庭支援センター750-2525)に気軽にご相談ください。今月のカウンセラー来校日は、3日(月)11日(火)午後、25日(火)午前です。